



白川橋

レインボー色が流れるように橋脚と欄干を彩り、橋全体が七色で塗り替えられて変化するプログラム。特別なイベント用で、「白川橋100周年イベント」でも採用された。飛騨川に映る光も美しい

100年の時を超えたまちのシンボルを町内外の協力で幻想的にライトアップ

大正15年(1926)に、清流「白川」と「飛騨川」の合流点に建設された橋長115mの白川橋。鋼トラス構造の主塔を持つ3径間吊橋は全国的にも珍しく、当時としては先進的な技術と洗練された欧風デザインの近代橋梁として親しまれ、2006年には土木学会選奨土木遺産に認定、2013年には国の有形文化財に登録されている。架橋100周年を迎えることから、白川町は照明設備をフルカラーLEDに一新する「白川橋建造100周年記念事業」を計画。行政の単独財源だけでなく、地域住民や白川町を応援する全国のサポーターから

広く寄附を募る協働型プロジェクトにより改修を計画した。導入された照明設備は、主塔にライトアップ演出用照明器具「ダイナワン」の狭角を用い、欄干は広角を採用して橋全体をライトアップ。8パターンの演出プログラムを登録することで、季節やイベントに合わせて演出再生が可能となっている。2026年3月28日の「白川橋100周年イベント」では、町内外から多くの人たちが集まり、ライトアップを堪能した。また、国道41号白川町区間は、日本風景街道「美濃白川四季彩街道」に認定されており、名所でもある白川橋はJR高山本線の列車から見えることから、ナイトツーリズムも含めた観光に寄与することが期待されている。

白川橋

■ライトアップ演出設備設置工事
所在地／岐阜県加茂郡白川町
事業主／白川町
電気工事／伊東電設株式会社
設備竣工／2026年3月



【春】ピンクと白を基調とし、桜が風に舞うようにピンクの光が流れていく



【初夏】白川の名産であるお茶をイメージした様々な緑が織りなす演出



【夏】青と白を基調とし、清流のように様々な青が白いしぶきを見せながら流れる演出



【秋】赤・黄・橙を基調に、白川の山々に錦織りなす紅葉をイメージしている



【冬】温かみのある白で雪景色を演出



【クリスマス】赤と緑を基調としたクリスマスカラーの演出



特注アームで欄干全体を照らす位置に設置されたライトアップ演出用照明器具「ダイナワン」(広角)



演出プログラム自動再生器が組み込まれた制御盤

主な納入設備

- ライトアップ演出用照明器具
- ライトアップ演出用コントローラ

WEBサイトで動画がご覧いただけます

